

## まつ毛貧毛症治療薬グラッシュビスタ®

まつ毛が『薄い』『少ない』『細い』『短い』とお悩みの方へ

まつ毛の治療薬が、当院でも取扱いが可能となりました。

### 料金

---

睫毛貧毛症（まつ毛貧毛症）の治療は**保険適用外**のため、**自費診療**となります。

グラッシュビスタ®	5ml 専用ブラシ 140 本入	¥18,700 (税込)
-----------	---------------------	--------------

### グラッシュビスタとは？

ビマトプロスト(Bimatoprost)という緑内障・高眼圧症治療薬に含まれる成分でできており、『緑内障・高眼圧症治療薬を使用して

いる人は、まつげがフサフサしている』という副作用に着眼し開発された日本で唯一承認されている『まつ毛貧毛治療薬』です。

- 特発性睫毛貧毛症
- がん化学療法による睫毛貧毛症

に効果があります。



**作用機序は？**

---

毛包（毛の元となる毛根を包みこんでいる組織）に作用し、毛周期（毛が生える周期）における 成長期を延長することで、**毛が長くなったり、太くなる作用**を発揮します。

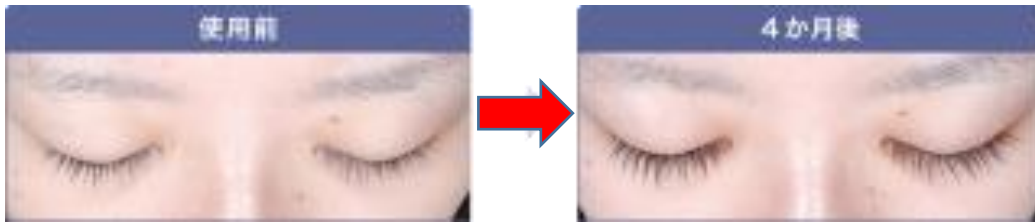
また、毛幹数を増やすことで毛の本数を増やす効果もありますが、毛包の数自体を増やすことはできないため、発毛の効果はなく、あくまでも**育毛の効果**となります。

## 効果は？

---

通常使用後 2 か月から効果を実感し始め、4 か月で最大効果を実感できるといわれています。日本人での臨床試験において、特発性睫毛貧毛症及びがん化学療法による睫毛貧毛症の成人患者にこの薬を**4 か月間**使用した結果、それぞれの患者において、改善が 77.3%（68/88 例）、及び 88.9%（16/18 例）の割合で認められました。

## 《効果が認められた代表例（グラッシュビスタ<sup>®</sup>使用）》



使用を中止すると元のまつ毛に戻ります。

### 使用量および回数はいくらですか？

---

- ・片目ごとに、1日に1回1滴を専用のブラシに滴下し、上まつ毛の生え際に夜に塗布します。
- ・頻りに塗布しても効果が促進されませんので、1日1回を超えて塗布しないでください。
- ・一度使用したブラシは廃棄してください。再使用はしないでください。

## 使用方法

---



### STEP 1

#### ご使用前に

グラッシュビスタ®は、夜、メイク落としと洗顔を済ませて清潔な状態にしてから使用します。コンタクトレンズは外してください。再装着は、本剤塗布15分以上経過後に行ってください。

下まぶたに塗布したり、直接眼に点眼しないでください。



### STEP 2

#### ブラシの準備

ブラシを容器から取り出します。ブラシの毛先には触らないようにしてください(必ず専用のブラシをお使いください)。

ブラシを水平に持ち、ブラシの毛先部分にグラッシュビスタ®を1滴落とし、染み込ませます。



### STEP 3

#### まつ毛の生え際へブラシで塗る

滴下後直ぐに、ブラシを使って、上まつ毛の生え際の部分を、目頭から目尻の方向へ丁寧に塗ります。下まつ毛には塗らないでください。

塗る時には、液が目の中に入らないように、下まぶたにつかないように気をつけてください。

塗布回数を増やしてもまつ毛の成長は促進されないので、1日1回を超えて塗布しないでください。



## STEP 4

### 生え際以外についた液をふき取る

液が上まつ毛の生え際以外についた場合は、コットンやティッシュなどですぐに薬液をふき取るか、洗い流してください。



## STEP 5

### ブラシを捨てる

片方のまつ毛を塗り終わったら、その都度使用したブラシは捨てて、再使用しないでください。

## 使用中に気をつけなければならないことは？

---

- ・ メラニンの増加により黒目（虹彩）の色が濃くなることがあります。投与を中止しても元にもどらないことがあります。また、片目のみ使用している場合には、左右の黒目の色に差が出てくる場合もあります。
- ・ 塗布したときに液が、上まつ毛の生え際以外についた場合、メラニンの増加によりまぶたが黒ずんだりすることがあります。ティッシュなど吸収性の素材ですぐにふき取るか、洗い流してください。

- この薬を使用している時に妊娠または妊娠した可能性のある人は使用を避けてください（動物実験で早産、流産や胎児死亡などが報告されています）。
- **下まつ毛には使用しないでください**（色素沈着の原因となります）。

## 副作用は？

---

- メラニンの増加によりまぶたが黒ずむことがあります。また、目の周りが多毛になったりすることもあります。これらは、塗布を中止すると元にもどる可能性があります。
- この薬を使用する場合には、これらの症状について、医師から十分説明を受けてください。また、まぶたの色調変化や、目の周りが多毛になることを防いだり、軽減したりするため、塗布後は目の周りについた薬をよくふき取るか、洗顔してください。

- まぶたのかゆみ、目がしみる、目のかゆみ、目の痛みなどの症状があらわれることがあります。このような自覚症状が持続する場合には、ただちに受診してください。